

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	プログレッシブ 特進一貫	社会	地理・歴史		必修	3

講座のねらい

1・2学期は、地理的分野を学習します。まず、地球のすがたを概観し、地理的な見方や考え方を学びます。その後、地形・気候・自然・産業など世界の諸地域の特徴をとらえ、比較しながら知識を深め、次年度の日本の地理を学ぶ際の足がかりとなるように学習していきます。

3学期からは、歴史的分野を学習します。先史時代から現代史にかけて、政治・経済、文化を中心に学び、時代ごとの特徴をとらえることで、歴史の大きな流れをつかみます。その際、ヨーロッパやアジアなど世界の歴史的な動きもふまえつつ、「なぜこうなったのか。」を学びます。さらに、考古学的な新発見やエピソードなどから歴史への興味や感心を高め、具体的な歴史的事象を学ぶことによって、広い視野に立って考える力を養います。

使用教材及び問題集

≪地理的分野≫ 教科書：「新しい社会 地理」 東京書籍
 資料集：「アクティブ地理 総合 世界・日本」 浜島書店
 問題集：「ウイニング地理Ⅰ・Ⅱ」 好学出版
 地図帳：「中学校社会科地図」 帝国書院
 ≪歴史的分野≫ 教科書：「新しい社会 歴史」 東京書籍
 資料集：「よみとき総合歴史 兵庫県版」 浜島書店
 問題集：「ウイニング歴史Ⅰ」 好学出版

地理的分野では、教科書と資料集等を利用して地理的な視点を養っていきます。さらに、地図帳を使って自ら主体的に地図を読み取り、調べる作業を行います。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

歴史的分野では、教科書をしっかりと読んで歴史の流れをつかみ、基礎的な知識を取得します。教科書の流れに沿って、資料集の図や写真を利用し、より深く内容を理解します。各単元終了後、問題集で知識の定着をはかります。

講座の到達目標

地理的分野では、広い視野に立って、地球や世界の諸地域の特色を理解し、地理的認識を深めます。様々な地域を比較・関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の共通性と多様性を理解します。地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して考察する力を養います。

歴史的分野では、歴史に対する興味や関心を高め、各時代の特徴をとらえて、歴史の大きな流れを理解します。歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解し、現在や未来の社会に対して多角的に考察し、公正に判断する能力を養います。

評価の観点・テスト・課題など

定期考査、課題考査、小テスト、宿題やノートなどの提出物、授業や学習に取り組む態度など、総合的に評価します。授業では、単元ごとに問題集等、授業内容の復習ができる課題を宿題とします。長期休暇においても復習中心の課題を出し、各学期ごとに課題考査を実施します。

備考

生徒の学習状況、理解の度合いなどを考慮し、講習などを行う場合があります。

【持ち物】教科書・資料集・ノート2冊・色鉛筆・のり

授業の計画

<p>1 学期 学習計画および学習内容</p> <p>《地理的分野》</p> <p>第1編 世界のさまざまな地域</p> <p>第1章 世界の姿</p> <p>第2章 世界各地の人々の生活と環境</p> <p>第3章 世界の諸地域</p> <p>1節 アジア州</p> <p>2節 ヨーロッパ州</p> <p>3節 アフリカ州</p> <p>4節 北アメリカ州</p> <p>5節 南アメリカ州</p> <p>6節 オセアニア州</p> <p>第4章 世界のさまざまな地域の調査</p>
<p>2 学期 学習計画および学習内容</p> <p>《地理的分野》</p> <p>第2編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の地域構成</p> <p>第2章 世界からみた日本のすがた</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1 九州地方</p> <p>2 中国・四国地方</p> <p>3 近畿地方</p> <p>4 中部地方</p> <p>5 関東地方</p> <p>6 東北地方</p> <p>7 北海道地方</p> <p>第4章 身近な地域の調査</p>
<p>3 学期 学習計画および学習内容</p> <p>《歴史的分野》</p> <p>第1章 歴史の流れをとらえよう</p> <p>第2章 古代までの日本</p> <p>1節 世界の古代文明と宗教のおこり</p> <p>2節 日本列島の誕生と大陸との交流</p> <p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <p>第3章 中世の日本</p> <p>1節 武士の台頭と鎌倉幕府</p> <p>2節 東アジア世界との関わりと社会の変動</p>